

情緒障害のある児童/不安の高い児童の実態と支援に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。

- この調査は、「【1】情緒障害のある児童【2】不安の高い児童の実態と支援」について調べることを目的としたものです。
- 調査対象者は、自閉症・情緒障害通級指導教室の担当の先生です。回答時間はおよそ15-20分です。
- 回答は任意です。同意いただける方のみご回答ください。また途中で調査を辞退することも可能です。それにより不利益を受けることは一切ありません。
- 正しい答え・間違った答えなどはございませんので、思った通りにお答えください。
- 回答は統計的に処理され、個人が特定・公表されることは一切ありません。また、結果につきましても学術的な目的以外に使用いたしません。
- 得られたデータはセキュリティ HDD および鍵のかかる保管庫にて厳重に保管し、研究が終了し一定年数の経過後安全に破棄いたします。
- それぞれの質問をよく読み、該当する選択肢に○、または空欄に必要事項を記入してお答えください。ご回答もれのないようお願いいたします。 東京都立大学 田中里実/東京学芸大学・橋本創一

【フェイスシート】

(1)勤務年数(あてはまるものに○)

例) R5年4月から勤務の場合→2年目

1年目 ・ 2～5年目 ・ 6～10年目 ・ 11～15年目 ・ 16年以上

(2)特別支援教育の経験年数

()年

(3)通級指導教室の児童数をご記入ください。

()人

【1】情緒障害のある児童に関する調査

【情緒障害のイメージに関する質問】

情緒障害とは医学的な診断名ではなく、明確な診断基準がなく症状から情緒障害と判断されるケースが多いです。情緒障害の症状は発達障害、知的障害、精神疾患にみられる症状と類似するものも多いといわれています。その背景を踏まえ、先生のお考えで構いませんので、以下の質問にお答えください。

①「情緒障害」と聞くと、どのような状態を指す言葉か明確にイメージができますか。(最も近いもの1つに○)
明確にイメージできない ・ あまりイメージできない ・ 何となくイメージできる ・ 明確にイメージできる

☆「明確にイメージできない」「あまりイメージできない」場合、その理由をご記入ください。

☆「何となくイメージできる」「明確にイメージできる」場合、先生のイメージする情緒障害の状態像について具体的にご記入ください。

②情緒障害とその他の障害（発達障害、知的障害、精神疾患）にはイメージとして違いがあると思いますか。
（最も近いもの1つに○）

全く違う ・ 似ているがやや違う ・ ほぼ同じ ・ 同じ

☆「全く違う」「似ているがやや違う」と回答された方に質問です。

情緒障害とその他の障害（発達障害、知的障害、精神疾患）にはどのようにイメージに違いがあると思いますか。

③これまでの回答を踏まえ、担当の通級指導教室のうち、情緒障害だと感じる児童は何人いますか？

（ ）人

【情緒障害のある児童に関する質問】

本研究における情緒障害を『周囲の環境から受けるストレスによって生じたストレス反応として、状況に合わない心身の状態が持続し、それらを自分の意思ではコントロールできないことが継続している状態がある者（発達障害がある場合もあれば、必ずしも障害とは限らない）』と定義します。

以下の質問では、クラスにいる情緒障害のある児童のうち、特に印象に残っている者 1名（以下、対象児）を選んで、対象児について回答してください。

(1)対象児のプロフィール

①対象児の学年 （ ）年生

②対象児の性別（あてはまるものに○） 男 ・ 女 ・ その他

③対象児の医学的診断（どちらかに○） あり ・ なし

<ありの場合> あてはまるものすべてに○をしてください。重複の場合、主たる障害を二重に囲んでください。

知的障害 ・ 自閉症 ・ ADHD ・ LD ・ 弱視 ・ 難聴 ・ 肢体不自由 ・ 病弱 ・ 精神疾患(名称:)

④服薬の有無（あてはまるものに○） あり ・ なし ・ 不明

(2)対象児の様子について

①学校での生活において、対象児の最も気になる行動や問題を 1つ選んで番号に○をしてください。

運動会などの行事	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
下校時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
放課後の活動	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない

(3)対象児の支援ニーズ及び支援方法について

① (2)①で回答した“最も気になる症状”が、学校生活において対象児にどのような課題（支援ニーズ）をもたらしていると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 日々の学習の遅れが生じている	7. 生活リズムが整わない
2. 学校の活動について意欲が低下している	8. 身の周りの自立ができない
3. 集団活動を行うことが出来ない	9. ルールを守ることが出来ない
4. 他者と安定した対人関係が築けない	10. 非行といった深刻な問題を生じさせている
5. 主体的なコミュニケーションをとることが出来ない	11. 自己肯定感の低下
6. 学校内で孤立している	12. その他（ ）

②対象児の抱える支援ニーズについて日ごろどのような支援を行っていますか？

③これまでの支援のなかで、効果のあった*支援方法と、その支援によって児童の様子がどのように変わったのか教えてください。（※気になる症状を改善させたり、緩和させたりすることができた支援）

(4)情緒障害のある児童の支援の困難さについて

対象児への支援全般に関して、ご回答される先生の考えをお答えください。

①対象児の情緒障害の症状を理解して、適切に支援することに対する「困難さ」はどの程度ですか。最も近いものに○をしてください。

全く困難ではない ・ それほど困難ではない ・ どちらともいえない ・ やや困難である ・ 非常に困難である

②対象児への支援に対する「不安感」はどの程度ありますか。最も近いものに○をしてください。

全く不安はない ・ それほど不安はない ・ どちらともいえない ・ やや不安である ・ 非常に不安である

③情緒障害のある児童の支援に対して困難さや不安がある場合、本児童の支援において困難さや不安感を生じさせる要因にはどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 他の児童の支援との両立ができない	6. 支援の効果がなかなか見られない
2. 支援方法が分からない	7. 専門家と連携が取れない

3. 支援するための時間的、物理的余裕がない	8. 本児童について相談する相手がいない
4. 保護者と連携ができない	9. 情緒障害が曖昧な概念で実態がつかめない
5. 情緒障害児を支援するための環境が整っていない	10. その他（ ）

④情緒障害児の支援について、どのようなサポートがあれば、困難感や不安感が減ると思いますか。

(例：専門家とつながる機会がもっと欲しい)

【2】不安の高い児童の実態と支援

【児童の不安に関する質問】

「不安」は、さまざまな場面や事柄において漠然とした不安が高い場合、社会的な場面や事柄について不安が高い場合、ある事柄等に対する不安にずっととらわれて考えが止まらなかつたりそれを払拭するための行動にとらわれたりする場合、特定の事柄について強い不安を感じる場合、保護者を中心とした特定の対象から分離することに不安を感じる場合等、その様態はさまざまです。

このような様態を想定いただき、先生のお考えで構いませんので、以下の質問にお答えください。

①先ほどの情緒障害に関する質問で回答した1名の児童について、「不安が高い」特徴があると感じますか。

0. 全く感じない ・ 1. あまり感じない ・ 2. やや感じる ・ 3. 非常に感じる

②以下の項目について、現在または過去6ヶ月以内の当該児童の様子にどの程度あてはまりますか。もし、その場面を見たことがない場合には、これまでに保護者の方から得ている情報や学校における当該児童の様子から想定してお答えください。

◀ 0.まったくあてはまらない ・ 1.ややまたはときどきあてはまる ・ 2.よくあてはまる ▶

1.	心配することをやめられない	0 ・ 1 ・ 2
2.	他の人の前でばかなことをしてしまうのではないかと心配する	0 ・ 1 ・ 2
3.	正しくやったか何度も確認する（例えば、ドアを閉めたか、蛇口を閉めたかなど）	0 ・ 1 ・ 2
4.	心配すると緊張したり、落ち着きがなくなったり、過敏になったりする	0 ・ 1 ・ 2
5.	大人（例えば、先生）に助けを求めるのをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
6.	保護者なしで寝ることや、家を離れて寝ることをいやがる	0 ・ 1 ・ 2
7.	高いところをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
8.	心配のせいでよく眠れない	0 ・ 1 ・ 2
9.	毎日、繰り返し手を洗う	0 ・ 1 ・ 2
10.	混雑したところや、狭い場所をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
11.	見知らぬ人と会うことや話すことをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
12.	両親に何か悪いことが起こるのではないかと心配する	0 ・ 1 ・ 2
13.	雷をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
14.	いろいろなことを心配して、一日の大半を過ごす	0 ・ 1 ・ 2

15.	組（同年代のグループ）のみんなの前で話すことをこわがる（例えば、発表するなど）	0 ・ 1 ・ 2
16.	何か悪いこと（例えば、迷子や誘拐など）が起きて、保護者に二度と会えないかもしれないと心配する	0 ・ 1 ・ 2
17.	水泳に行くことに神経質になる	0 ・ 1 ・ 2
18.	悪いことが起きないように、正しい順序や位置に物を置かなければならないと思っている	0 ・ 1 ・ 2
19.	他の人の前で恥ずかしいことをしてしまうのではないかと心配する	0 ・ 1 ・ 2
20.	昆虫および／またはクモをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
21.	悪い考えや、ばかげた考え、あるいは悪い想像を繰り返す	0 ・ 1 ・ 2
22.	保育園や幼稚園／学校で、保護者から離れることをいやがる（またはベビーシッターと一緒にいるのをいやがる）	0 ・ 1 ・ 2
23.	子どもたちのグループや活動に参加しようとするのをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
24.	犬をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
25.	保護者と離れ離れになってしまう悪夢をみる	0 ・ 1 ・ 2
26.	暗闇をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
27.	悪いことが起きないように、頭の中で特別なこと（例えば数字や言葉）を考え続ける	0 ・ 1 ・ 2
28.	必要がないと思われるときでも、安心感を求める	0 ・ 1 ・ 2

③当該児童の保護者の方は、子どもの「不安の高さ」の特徴を感じていますか。

0. 全く感じていない ・ 1. あまり感じていない ・ 2. やや感じている ・ 3. 非常に感じている

④当該児童の「不安の高さ」の特徴やそれにかかわる困難について、これまで保護者の方と共有をしたことはありますか。

0. 共有したことはなく、する予定もない ・ 1. したいと思っているがまだできていない ・
2. 保護者から相談があり共有したことがある ・ 3. 先生から話題に挙げて共有したことがある

⑤これまでの支援の中で、当該児童の「不安の高さ」の特徴とそれにより生じている困難に対して効果があると感じた支援方法と、その支援によって当該児童の様子がどのように変わったのか教えてください。

⑥「不安の高い」児童を支援する上で、先生が困難を感じていることや望むサポートがあれば教えてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。